

放送大学学園の施設整備に関する対策【文部科学省】

施策概要

効果

放送大学学園において、災害時の教育機能の低下を防ぐため、老朽化・陳腐化が著しい施設の改修を実施

マイナートラブルに対し適時に修理を実施することで放送事故の発生や学習センターの閉鎖等の重大なトラブルを防止



放送大学学園



千葉県千葉市



放送及び学習環境の
防災・減災機能の強化

全国的な対策と効果

学園全体で発生しているマイナートラブル(水漏れ、漏電、外壁の剥がれ等)に対し、適時に対策を実施



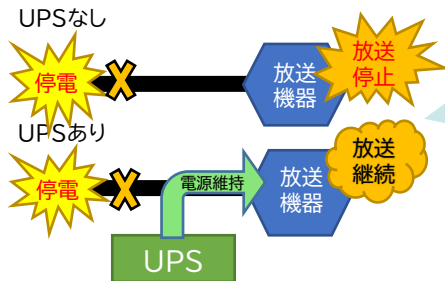
対策前



対策後

- 蓄電池更新で非常用切替時の電源確保
- 非構造部材の耐震・安全性の確保
- パネル表示で見える化

継続的な教育・学習環境の提供可能に

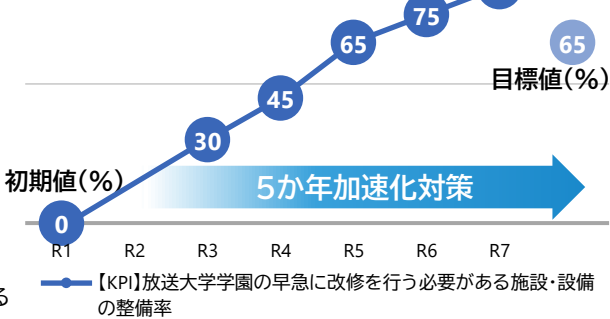


令和元年房総半島台風(台風15号)に伴う長期停電被害と同規模の災害等が発生した場合でも、UPS(無停電のバックアップ装置)により整備した電源装置等により電力を途切れさせず、全国各地に在住する学習者(約9万人)に対して継続的な教育・学習環境の提供が可能となるよう対策を実施している。

予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
3億円	-	-
R6	R7	累計
-	-	3億円

目標達成の見通し



※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

(1) 人命・財産の被害最小化

(2) 交通・ライフラインの維持

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

2 インフラの老朽化対策

(1) 施策のデジタル化

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化